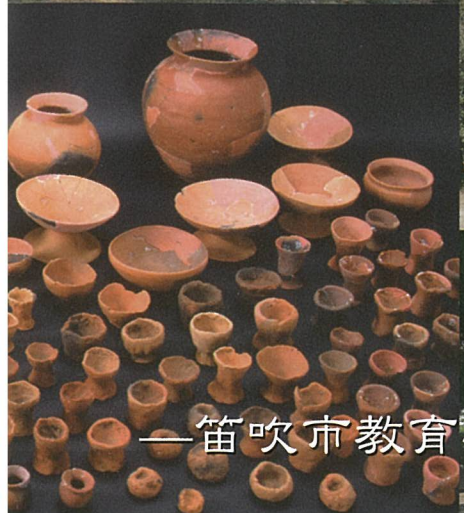




甲斐国分寺跡
甲斐国分尼寺跡
とその周辺
一宮町南西部
石和町東部
御坂町北東部

甲斐国千年の都 笛吹市

文化財を
訪ねよう



— 笛吹市教育委員会 —

考古学の知識

遺跡

■ 市内の遺跡 ■

笛吹市内には733遺跡が登録されています。これらは地表の遺物や地形観察などで明らかになったものです。時代は旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世などに区分されます。集落、物を加工するための加工場・工房跡、墓地跡はもちろん、畑や田、資源の採取場など、人間の活動した色々な場所がすべて遺跡になります。

実際の遺跡の多くが地中にあるため、発掘調査によって実態を知ることができます。

■ 遺構と遺物 ■

遺跡を調査するとき、住居や古墳など持ち運びできないものを遺構、石器や土器や瓦など持ち運びできる出土物を遺物と呼びます。

古代寺院

■ 古代仏教 ■

日本に仏教が公式に伝わったのは6世紀の半ばで、欽明天皇が百済の聖明王から仏像・経典などを献上され、蘇我稲目（馬子の父）が自宅を改造して堂を造り仏像を礼拝しました（日本書紀）。

蘇我馬子（父は欽明天皇、母は蘇我稲目の娘・堅塩媛）、推古天皇（用明天皇の妹）、聖徳太子（父は用明天皇）を味方につけ、日本で最初の本格的な寺院と言われる飛鳥寺を造りました。また聖徳太子は四天王寺や法隆寺を造りました。これらに倣い、皇族や中央の豪族も続々と寺院を建立し、やがて地方の豪族の間にも寺の造営が波及していきました。

■ 伽藍と建物跡 ■

古代寺院は一般の住居と異なり、広い範囲に複数の大きな建物を配置し、屋根には瓦が葺かれます。建物には塔（三重塔、五重塔、七重塔など）、金堂、講堂、鐘楼、経蔵、僧房、食堂（七堂伽藍）のほか、回廊や伽藍を囲む塀、門もあります。重量のある建物で、地盤工事をし、柱下には礎石を置きました。寺では僧尼のほかに、多くの人々が寺の活動を支えました。彼らの住居、資源の加工場、田畑もあったようです（瓦を焼いた窯跡は甲府市で発見されています）。

笛吹市には寺本廃寺跡（寺本古代寺院跡）、甲斐国分寺跡、甲斐国分尼寺跡があります。市内にはこのほか古代の瓦を出土し寺跡の存在が想定されている場所が5箇所（長谷寺境内、大積寺遺跡、瑜伽寺付近、半行寺付近、温湯遺跡）あります。

史跡甲斐国分寺跡 大正11年指定



伽藍地の範囲

七重塔の礎石

写真上が北

史跡甲斐国分尼寺跡 昭和24年指定



伽藍地の範囲

金堂跡

講堂跡

写真右が北西

山梨県笛吹市教育委員会文化財課

〒406-0031 笛吹市石和町市部 809-1 TEL:055-261-3342 (直)

① 甲斐奈神社

カイナジンジャ

旧社格は村社。林部神社ともいう。祭神は国常立尊(クニトコタチノミコト)、高皇産靈尊(タカミスビノミコト)、伊弉諾尊(イザナギノミコト)、伊弉冊尊(イザナミノミコト)。『甲斐国志』には「総社」とある。天正十年(1582)、小田原北条氏に与したため神領を失うが、翌年林部郷より寄付金を受け御朱印を受け回復した。正殿、幣殿、隨身門、神楽殿などがある。



神社の知識



社格について 明治四年(1871)、政府は全国の神社を官社と諸社とに別けた。官社は大・中・小の官幣社と国幣社および別格官幣社、諸社は府県社・郷社・村社・無格社に区分された。この制度は昭和21年(1946)にGHQの指令により廃止された。

式内社(シキナイシャ) 朝廷が重視した神社で「延喜式神名帳」(エンギシキシンメイチョウ)に名が記載されている神社。記載のない神社を式外社(シキゲシャ)という。神祇官、国より直接奉幣を受ける神社をそれぞれ官幣大社、国幣大社と言った。

一宮(イチノミヤ) 平安時代、国司が任国赴任の際、最初に拝礼(国司神拝)した神社。二宮、三宮などもある。

総社(惣社)(ソウジャ) 国司が任国内すべての神社に神拝する手間を省くため、国府の近くに合祀した神社を造り、総社と称した。

寺院の知識

寺格について 諸寺院は朝廷や幕府により区分された。「延喜式」で官寺は大寺、国分寺、定額寺(ジョウガクジ)、有封寺(ユウフジ)、諸寺に区分されている。鎌倉幕府が臨済宗寺院の「五山」を選定し、室町幕府が臨済宗寺院を「五山、十刹、諸山、林下」に区分したことから、各宗派でも序列や格を定めるようになった。

官寺(カンジ) 国家が経済的保障をし監督する寺のことで、国家や天皇・皇室の安泰を祈願するための寺である。大寺、官大寺ともいう。国分寺・国分尼寺を含める場合がある。

私寺(シジ) 貴族や豪族らが私的に建てた氏寺で、大宝律令(タイホウリツリョウ)の僧尼令(ソウニリョウ)により制約されたが、政府は僧侶による寺院建立を黙認した。中世以降は貴族の家に付属する菩提寺を指すようになった。

定額寺(ジョウガクジ) 奈良・平安時代、国分寺・国分尼寺に次ぐ寺格をもつ寺院であるとされる。「定額」の意味は不明。皇族や貴族が建てたものが多く、国の便宜を受けることができた。

檀家制度(ダンカセイド) 寺請制度(テラウケセイド)ともいう。江戸初期に定められた制度で、民衆は特定の寺院を菩提寺とし、寺から檀信徒である証明を請ける義務が課された。戸籍同様の宗門人別帳(シュウモンニンベツチョウ)が作成され、移動の際には寺の発行する証文が必要とされた。寺にとって本来の宗教活動ができず、布教・改宗や寺院建立が禁止されて、仏教の停滞を招いた。

本末制度(ホンマツセイド) 江戸幕府の定めた制度で、各宗派の寺院を階層的に序列し、幕府は本山を通じて末寺まで効率的に統制することができた。結果的には自由な各宗派による宗教活動ができなくなり、本山への権限集中という弊害を招いた。

② 両ノ木神社

リョウノキジンジャ

両ノ木八幡社のこと。祭神は菅田別命(ホムタワケノミコト)。12間×15間の角力(スモウ)場があった。小字「竜ノ木」と「両ノ木」の起源は同じと考えられる。



③ 国立神社

クニタチジンジャ

祭神は国常立命(クニトコタチノミコト)と国造塩海足尼(コクゾウシオミノスクネ)。『甲斐国志』に社中に建石または矢石が降ったという。また塩田長者の降矢対馬守(フリヤツシマノカミ)が金亀を埋めてその上に石を立て金亀大明神と呼ばれたという。



④ 石船神社

イシフネジンジャ

村社。祭神は天塩足尼命(テシオノスクネ)、磐長姫命(イワナガヒメノミコト)。神殿の下にある船形の石が名称の由来と伝わっている。



⑤ 牛飼神社

ウシカイジンジャ

祭神は瓊瓊杵尊(ニニギノミコト)。神社前に湧水があり、壺を埋めて飲用に供していたので、「坪井」名の発祥地となったという。



⑥ 本都塚・熊野神社

モトミヤコヅカ・クマノジンジャ

村社。祭神は伊弉諾命(イザナギノミコト)、伊弉冊命(イザナミノミコト)。



⑦ 国分寺

コクブンジ

山号は護国山で、臨済宗の妙心寺末。741年の聖武天皇の勅により全国に建てられることとなった国分寺の一つであった。行基により開山されたと伝わる。

『政事要略』に938(天慶元)年に堂舎が破損している記述がある。鎌倉時代の建長7年(1255)には諸堂が兵火にあった。その後修理されたが、室町時代には衰退した。

武田信玄が財を投入し臨済宗の寺として再興した。勝頼も寺領を寄進し、快岳周悦に中興をゆだねた。周悦は勝頼の叔父とされ、天正10年、京都から勝頼の歯髪を甲斐に持ち帰り供養している。

境内には江戸中期の薬師堂、本堂、鐘楼門、江戸末期の庫裏があり、下部に天平期の伽藍跡を留めていたが、史跡整備に伴い2005年より建物を解体し、南方300mほど離れた地に移転・再建された。



⑧ 小玉寺

ショウギョクジ

山号は青鷲山(セイロサン)。臨済宗恵林寺末。本尊は十一面観音菩薩。開山は夢窓国師。寺宝に古鏡一面(明治中期に逸失)。境内は国学跡として登録されている。国学の置かれた跡とも見られ、境内西南隅に鉤状の土塁があり、硯一面が見つかった(現在行方不明)。



⑨ 日当神社

ニットウジンジャ

祭神は大日靈命(オオヒルメノミコト)。社記に孝徳天皇大化三年(647)に勧請したという。国司が国衙に下向するとき拝礼したといい、武田氏累代が尊崇し領地を寄進したという。末社に蜷影大神、八幡大神、春日大神、大山大神、琴平大神を祀る。祭日は4月3日と10月15日。



⑩ 長昌寺

チョウショウジ

山号は瑞光山(ズイコウサン)。臨済宗妙心寺末。本尊は正観音菩薩。開山は仏徳大通禪師。『甲斐国志』に第十世のとき地中から石函に納めた大般若経が見つかったが、全て腐っていたという。十五世のとき250巻が大檀那の源(雨宮)摂津守家国(ミナモトノセツノカミイエクニ)が写し奉納した(市指定文化財)。キンモクセイが市指定天然記念物。



⑪ 竜雲院

リュウウンイン

山号は長谷山(チョウコクサン)。曹洞宗広嚴院末。本尊は聖観音。『御代咲村社寺明細帳』に創立は永正元年(1504)とある。「開山は自山、開基は塩田長者娘の梅溪理秋大姉」と『甲斐国志』にある。



⑫ 長寿院

チョウジュイン

山号は宗前山(ソウゼンサン)。浄土宗増上寺末。本尊は阿弥陀仏(恵心作)。創立は寛永三年(1626)。私立寒山学校(明治39年創立)の教場ともなった。



⑬ 西念寺

サイネンジ

山号は方運山(ハウウンサン)。浄土宗瑞蓮寺末。本尊は阿弥陀菩薩。瑞蓮寺開山胤養上人により天正二年(1574)に創立。



⑭ 泉正寺

センショウジ

山号は助給山(ジョキョウサン)。宗派は浄土宗(瑞泉寺末)。本尊は阿弥陀仏。開山は緑萱月公。開基は鷹野氏祖先。

